

(様式1)

自己評価票

作成日 平成28年8月29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870102647		
法人名	株式会社 トゥルーケア		
事業所名	グループホーム メロン	ユニット名	2丁目
所在地	〒311-1113 茨城県水戸市平戸町舟渡380-1		
自己評価作成日	平成28年4月1日	評価結果 市町村受理日	平成28年9月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870102647-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年5月17日	評価機関 決 済 日	平成28年8月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>GHメロンは、入居者様が「安心」「安全」に生活していただけるよう、サービスを提供させていただいております。</p> <p>昨年より、外部の方との交流や世代間交流を実施し、入居者様が楽しめる行事を定期的に行っております。（世代間交流は、幼児から高校生までの方との、交流を行っております。）</p> <p>ホーム内に、特浴があり、個人浴とは別に設置しております。体調面を考慮し、安心して入浴ができます。</p> <p>今後とも、職員一丸となり努めていきます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は裏手に涸沼川が流れるのどかな場所にあり、毎日川沿いを散歩して近隣住民と挨拶を交すなど、利用者は穏やかに暮らしている。</p> <p>「一人ひとりの個性を尊重し」という理念のもと、利用者の特性を活かすケアを心がけながら、利用者本位の支援をしている。</p> <p>同一法人系列の事業所と合同で、多世代が参加する世代間交流を年4回実施し、昭和の食卓を囲んだり、わらじを作ったりして世代を超えて楽しんでいる。</p> <p>入浴を楽しむために、浴室に季節の花を飾って季節感を出すとともに、身体的に入浴が困難な利用者のために、機械浴を設置している。</p> <p>運営推進会議に近隣のグループホーム職員が参加しており、互いに協力関係を構っている。</p> <p>職員は入職時に防災委員会や衛生委員会など、各種委員会に所属して支援している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	散歩に出た際などに、地域の方にあいさつをしっかりとるようにしています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティアの方々に、来設して頂き交流会行っております。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域からの行事のお誘いがあった場合は、交流が出来るように参加させていただきます。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回運営推進会議を開催しています。自治会行政窓口センター、ご家族様に参加いただき、の居状況報告や地域との関わりと、ご家族から意見、サービス向上に活かしています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険証の更新や運営上で、不明な点がある場合に、ご相談させて頂いております。また、運営推進会議においては、貴重なご意見を頂いております。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会や研修に参加し、長期間、身体拘束をしないケアを実践しています。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待が行われないよう、職員同士で注意しています。また、言葉遣いにも注意しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	事業所として学ぶ機会はありませんが、ご家族様や入居者から相談があった際には、情報収集を行い、必要に応じて活用して頂くようにしています。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明は、文書の説明を納得して頂いています。不安や疑問のある場合には、その都度説明させて頂いています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置はあるが、使用された方はいない。ご家族の方が要望などある場合は各階の管理者に直接言って下さるご家族が多く、出来る限りの努力をしています。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回職員会議での意見を述べる機会があります。また、各階においても意見や、提案を聞いてもらえ、それをホーム長を介して本部に伝える機会もあります。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の勤務状況や努力点は、個人考課に沿って、実情と照らし合わせ給与に反映されている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会や外部の研修会に参加を実施しています。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県グループホーム協会に加盟し、定期的な研修会に参加しているが職員が参加する機会がない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にお話を伺い、どの様に生活したいのか、またどんな点が不安に思っているのかを聞き対応しています。施設での行事や日々の流れをお伝えし、不安の解消に努めています。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にもどの様な生活を希望されているのかを伺い対応させて頂いております。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設での生活が可能かどうか検討し、他のサービスが適していると見極めたときは、関係機関・ご家族様とご相談させて頂いております。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お手伝いなどを通して家族のような関係を築くことで、生きがいを増やし共に支えあえる暮らしが出来る。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られたご家族様に、入居様の様子を伝えています。近況を伝えることで入居者様の見えない部分を理解して頂き、より良い会話ができる支援となる。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の方より要望があるある場合は、その都度、電話をかけて話をして頂いております。面会の声掛けにも、出来る限りの支援に努めています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ひとりひとりの想いを知り、孤立する事のないよう見守り楽しい生活が出来るよう支援に努めています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も、ご本人様やご家族様との関係が途絶えることが無いよう面会や相談の機会を設けるなど継続的に支援を行っています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の意向に添える様なサービス提供をしています。困難な場合は、表情や様子からその人らしくを見出しサービス提供をしています。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族より知り得た情報を生活歴などを把握し、より良い情報を活用しサービス提供に努めています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人なりの状態を第一とし、無理なく過ごせる様、ご自身の出来ることは見守り介助を要する場合はお手伝いさせて頂いています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月カンファレンス実施し、ケアプラン作成し、より良いサービスが提供できる様にしております。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人毎に、日中や夜間の記録を残し、特変事項があれば申し送りをしています。日々の記録をする事で、情報を共有し、ケアプランの実践や介護計画の見直しに活かしています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様自身の心身の状態は、日々変化するので状況に応じたサービス提供を実施しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用の意味を理解して、入居者にとって安全で豊かな生活を楽しめる様に支援しています。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回提供医療機関の訪問診療により健康管理をしています。希望があれば、家族や利用者のかかりつけ医を受診する事も可能ですので支援しております。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々、いつもと変化のあった場合、訪問看護に相談し、迅速な対応を心掛けております。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーを作成し、医療機関に渡しています。状況に応じて、入院先の医療機関に向き、医療関係者と情報交換を行い、退院後の生活について、アドバイスをいただいています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に合わせて、事業所として出来る事を提案させていただき、入居者様やご家族様の支援に取り組んでいます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練を実施している。勉強会や研修会を行っており、急変時の対応も学ぶ事ができます。主治医からも指導していただいています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防訓練、避難訓練を実施している。職員全員が災害に対応出来るようにする。その為、繰り返しの訓練をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入室する場合、入居者に確認をしております。お預りした洗濯物と届ける時、又清掃をする場合も同様です。排泄介助の際は、気遣いを忘れずに介助しています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意思を尊重し希望される方には、事業所外を散歩に同行し、楽しみを持っていただけるようにしています。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先となりがちな日々ですが、ケアを優先する事で、一人ひとりが楽しく過ごせる様個人のペースに合わせた声掛けを行っています。散歩、テレビ観賞、談話とさまざまです。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝の整容は、洗顔後、髪型を整えたり、男性の方は髭を剃っていただく様声掛けしています。自力でできない方は、介助しています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみとなっている利用者にメニューを伝え、食事中も声掛けを行いながら楽しい雰囲気作りをしています。食後の片付けも出来る方にお手伝いをお願いしています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を個々に把握する為、摂取表に記録しています。摂取量の少ない方の原因も確認及び把握できるので大変有効です。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けをしております。介助の必要な方には、職員が介助する事で清潔を保っております。口腔内を刺激する事で、食欲増進もできます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間3～4時間を目安にある程度決めて行っています。こちらからの声掛けによって判断していただいております、自立に向けた支援をしている。入居者様のペースで行っております。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の確認し、排便が見られない入居者様に水分補給や体操運動を行っています。入浴時、軽い腹部マッサージを施行しています。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の体調の良い時、声掛けにより好きな時間に希望に合わせて努力支援しています。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間入眠されない入居者様に声掛け見守りを中心に支援しています。昼食は、1時間程度にさせていただき、その時の状況により判断させていただきます。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が服用している薬の効能、副作用を各自調べ薬の理解に努めています。症状の変化があった時は、医師に伝えるようにしております。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションにより、体操・歌・言葉遊びなど入居者様の気分転換をしています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の入居者様の体調を考慮した上で、出来る限り散歩、買い物支援に努めております。御家族の協力をお願いし、外出の機会を増やしていきたい、地域の人々にも呼びかけ支援しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つ大切さは理解しているが、入居者様自身管理する事が困難の為、事業所で管理している。</p> <p>入居者様の希望で、自己責任にてお金を所持し使用している方もいる。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者様が家族とお話する事ができるよう支援しております。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室温管理は、入居者様が心地よく過ごせる温度で対応しております。</p> <p>共用空間は、利用者が不快感をまねく事のないよう配慮している。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合う入居者が同じテーブルにて会話が楽しめるよう工夫している。状況によっては、席の交換もしている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた馴染みの物や、テレビ、人形、写真など持ち込んだり飾る事で、居心地よく暮らせるようにしております。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室内にいる時も、見守りを行い、安全・安心に生活が送れるよう支援しています。できる事、わかる事を把握するよう努め工夫しています。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない